
CFA[®] Newsletter

金融・投資関連 参考情報ニュースレター

No.004 2009年 SPRING

Contents

Topics

1. 投資詐欺防止のための 10 ケ条を提唱
2. CFA 協会 第 62 回年次大会開催
3. CFA 協会 改訂 GIPS[®] 公開草案を公表
4. ドナルドソン、レヴィット両氏が中心となってインベスターズ・ワーキング・グループ発足

CFA News & Trend

1. インベストメント リサーチ チャレンジ・アジア大会開催 早稲田大チーム健闘も予選敗退
2. プログラム・パートナーとの活動状況

CFA People

1. 日本 CFA 協会理事 名誉会長 岡本和久、財務担当 瀬尾周一
2. イベントのご案内

本ニュースレターでは、世界の公正な投資市場をリードする専門資格「CFAR (Chartered Financial Analyst[®])」の認定・推進機関である CFA 協会の活動から、情報をお届けいたします。取材の参考資料としてご利用いただくことができれば幸いです。

[本資料に関するお問い合わせ先]

日本 CFA 協会 広報担当 松原
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-3-8 共同ビル (昭和)
Tel 03-3517-5471/Fax 03-3517-5472

広報事務局(株)ジャパンピーアールビジョン
担当 福嶋貴徳/築比地一晃
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-10-6 御幸ビル
Tel 03-3574-6591/Fax 03-3574-0056
fukushima@jprv.co.jp/tsuihiji@jprv.co.jp

1.投資詐欺防止のための10ヶ条を提唱

マドフによる詐欺事件により投資詐欺に対する意識が高まっています。それでも多くの投資家は、自分が被害にあう恐れはないと感じているかもしれません。しかし投資詐欺は多様な形で投資家を襲い、被害者になる可能性はすべての投資家にあります。CFA 協会ではそうした被害にあわないための10ヶ条を提唱しました。この10ヶ条は、投資家が詐欺被害にあわないための判断基準であり、適切かつ十分な知識を持ち、堅実な判断を行う可能性を高めるものです。

1. **投資戦略を明確に理解する** ~ 金融商品を熟知する
2. **投資戦略と報告された収益を比較する** ~ 高利回りと安全な投資戦略は矛盾する。監査基準や GIPS^R () に準拠しているかを確認する
3. **Eメールの勧誘やネット詐欺に注意する** ~ ネット上の不確実な情報に疑念を持つ
4. **「確実性」や即時的な収益、「特別なアクセス」に注意する** ~ 絶対的な高利益確約は存在しない。特定の個人だけの特別はありえない
5. **どのような規制 監督が存在するかを理解する** ~ ヘッジファンドの多くは規制が緩く、一部は回収が困難なリスクがある
6. **オペレーション・リスクとインフラを評価する** ~ 資産運用業務のプロセスと管理、監督について情報提供を要求する
7. **独立監査とその実施団体について質問する** ~ 投資先の監査済財務諸表と監査団体を把握
8. **人材を評価する** ~ 業務を信託できる人材かどうか、CFA 資格者など信頼できる公認資格者かどうか
9. **素行調査を行う** ~ 投資会社や代理人の登録有無など信用機関へ調査する
10. **リスクバランスの制限** ~ 高リスク商品を資産の10%以下に

GIPS^R : グローバル投資パフォーマンス基準

詳しくは CFA 協会のウェブサイトをご覧ください。

http://www.cfainstitute.org/aboutus/press/release/09releases/20090121_01.html

2.CFA 協会第 62 回年次大会開催

CFA 協会による第 62 回年次大会が、4 月 26 日から 29 日までフロリダ州オーランドにて開催されます。今年のテーマは、「長期的な投資の成功を導く辛抱の原則 (Enduring Principles for Long-term Investment Success)」とされ、不安定な市場環境による様々な困難の下で、基本的な投資原則の再検討に焦点を合わせます。本大会も、業界をリードする専門家を多数招き、グローバル投資の傾向、従来投資実務の批判、そしてオルタナティブ投資、行動ファイナンスなどの分野におけるイノベーションを探る議論の場を提供します。

【主な基調講演者】

- マイケル・ルイス：ベストセラー「ライアーズ・ポーカー」、「マネーボール」などの著者
- アンドリュー W. ロー：マサチューセッツ工科大学スローン・スクール・オブ・ビジネス教授
- ビル・ミラー：レグ・メイソン会長兼 CIO
- ヌーリエル・ルビニ：ニューヨーク大学スターン・スクール・オブ・ビジネス教授 他

年次大会の詳細につきましては、以下のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.cfainstitute.org/memresources/conferences/090426/index.html>

本カンファレンス取材・聴講されたいメディアの方は、下記まで直接ご連絡ください。

担当：Betty Wong, CFA Institute-Asia Pacific Office

Direct：(852) 3103 9366 Fax：(852) 2868 9912

Email：betty.wong@cfainstitute.org

3 .CFA 協会改訂 GIPS^R公開草案を公表

CFA 協会は、グローバル投資パフォーマンス基準（GIPS^R）の運営母体として GIPS エグゼクティブ・コミッティー（EC）を設置しております。このたび GIPS EC は、GIPS 基準の改定草案を公表し、本年 7 月 1 日まで広く意見を募ることになりました。

改訂 GIPS 基準は、2010 年初めに採択され、2011 年 1 月 1 日に発効する予定になっています。すなわち 2011 年 1 月 1 日以降の GIPS 基準準拠パフォーマンス提示資料は、改訂 GIPS 基準に従って作成される必要があります。

今回の改訂では、準拠表明文における検証を受けている事実の有無、検証を受けているならば検証を受けている期間などの開示、フェア・バリューによる時価評価の全面的採用、報酬を課さないポートフォリオもコンポジットに組み入れること、リスク指標としての 3 年間標準偏差の提示と投資戦略の持つリスク情報の開示、等々の主要な変更が加えられました。またベスト・プラクティスを業界に浸透させるべく、条項の追加・削除など全面的な見直しが行われました。前回の 2005 年改訂時に 2010 年 1 月 1 日から必須基準にする予定としていた勸奨基準 4 項目は、改訂 GIPS 公開草案では予定通り必須基準とされました。

詳しくは、以下の GIPS^Rのウェブサイトをご覧ください。

http://www.gipsstandards.org/news/releases/2009/gips_2010_exposure_draft_open_for_public_comment.html

4. ドナルドソン、レヴィット両氏が中心となってインベスターズ・ワーキング・グループ発足

二人の SEC 委員長経験者ウィリアム・ドナルドソン、アーサー・レヴィット両氏が中心となり、米国金融市場の改善策を提言すべく、インベスターズ・ワーキング・グループ (IWG) が発足いたしました。この無党派の広範な専門家から成る組織は、機関投資家協議会 (Council of Institutional Investors) と CFA センター (CFA Institute Centre for Financial Market Integrity) が共同スポンサーとなって設立されました。

IWG の狙いは、投資家の意見が政策決定者に伝達され、金融市場参加者が米国金融市場の規制について議論することにあります。CFA 協会および機関投資家協議会は、現在進められている金融市場改革の議論は、発行体や仲介業者のコストにのみ焦点が当てられ、投資家への配慮を欠いているものと考えています。

1993 年から 2001 年まで SEC 委員長であったレヴィット氏は、「当グループは、政策決定者と共に、投資家の立場を主眼とした本質的な規制の変革により金融市場の信頼性を回復すべく設立されました。透明性と包括的な投資家保護が市場評価の尺度であることを投資家に保証すべく、広範な意見を取り入れるつもりです。」と述べています。

また 2003 年から 2005 年まで SEC 委員長を務めたドナルドソン氏は、「IWG は、グローバルな信用危機の発生に鑑み、金融規制の枠組みの改善を提言する重要な諮問委員会となるでしょう。」と語っています。

詳しくは CFA 協会のウェブサイトをご覧ください。

http://www.cfainstitute.org/aboutus/press/release/09releases/20090211_01.html?intCamp=default_iwg

News and Trend

1. インベストメント・リサーチ・チャレンジ・アジア大会開催 早稲田大学健闘も予選敗退

3月7日、シンガポールにて開催されたインベストメント・リサーチ・チャレンジ・アジア太平洋地区大会において、シンガポール代表の Nanyang Technological University (NTU) チームが優勝し、4月2日にロンドンで開催される第3回世界大会へ出場します。今大会にはアジア太平洋地区に CFA 協会のある 15 の地域・国から 12 チームが参加するという、前年を大幅に上回る高い参加率をみせました。本大会は参加校が多いだけでなく、相当にレベルの高い地区大会となりました。今回日本代表として参加した早稲田大のチームも短期間のうちに入念な準備と練習を重ね、本番でもその成果を遺憾なく発揮しましたが、他チームのそれを上回るプレゼンテーションには残念ながら一歩及ばず、予選敗退となりました。

「英語での資料作成、プレゼンテーションといったハンディが日本チームにはあったかもしれませんが、最終審査に残ったチームは必ずしも“英語力だけ”で勝ち残ったわけではありません。それぞれしっかりとした準備と相当量の練習をこなし、本大会に臨んだ結果です。ただ、どのチーム

のプレゼンテーションも非常にレベルの高い内容で甲乙付け難いものでしたので、ちょっとした工夫次第でどのチームにも優勝のチャンスはあると感じました。今後も日本代表チームには英語に臆することなく果敢に挑戦して欲しいと思います。」（大会に同行した有江慎一郎日本 CFA 協会理事談）

これまでの数年間で全世界の 35 の地区・地域から延べ 200 校に及ぶ大学が参加してきたこのインベストメント・リサーチ・チャレンジは、今回だけで 48 の地区・地域から 237 校が参加する世界的に関心の高いイベントになりました。このイベントは、参加チームがそれぞれ指定された対象企業に関して行った投資分析結果を調査レポートにまとめ、投資判断のプレゼンテーションを行い、その分析力の高さを競う大会で、各国（北米は主要都市等の地域拠点）で行われる国内大会、その国内大会の勝者で競われる世界 4 地区での地区大会、さらにその地区大会を勝ち上がった 4 チームで行われる世界大会という構成で行われます。次の国内大会は 4 月に開催準備を開始する予定です。

2. プログラム・パートナーとの活動状況

早稲田、青山学院、一橋各大学院との共同活動について

日本 CFA 協会は、昨年 CFA プログラム・パートナーとなった大学との共同活動を定期的に行っております。今年に入ってから早稲田大学大学院ファイナンス研究科において投資に関する職業倫理の講習会を 2 月 24～26 日の 3 日間にわたり行いました。プログラム・パートナーである大学が CFA 協会の定める倫理規範をカリキュラムの中に取り入れることを求められていることから開催されたもので、内容は CFA 協会の倫理規範および職業行為基準に始まり、投資パフォーマンス基準、コーポレートガバナンス、アセットマネージャー職業行為規範など多岐にわたりました。ケーススタディのセッションでは職業倫理の観点から投資専門家はどのような行動を取るべきか、参加した学生の皆さんから様々な意見が出され、職業倫理への関心の高さが伺われました。

3 月 3 日には青山学院大学大学院国際マネジメント研究科において、Fitch Rating より Frederic Gits 氏をスピーカーに招き、“Challenges in Bond Ratings in the Current Economic Environment” と題したジョイントセミナーを開催しました。日本 CFA 協会の会員、受験者及び青山学院大学から 44 名が出席し、最近の格付動向に関する講演に熱心に耳を傾けていました。

また、翌 3 月 4 日には一橋大学大学院国際企業戦略研究科において Webcast イベントを開催しました。Webcast イベントとは、CFA 協会が世界各地で開催したセミナーをビデオ撮影し協会のウェブサイト上に蓄積しているものを上映するイベントで、今回は“The Myth of Diversification” と “Psychological Influences on Investor Decisions” の 2 講演を約 2 時間強視聴しました。

今後も日本 CFA 協会は、プログラム・パートナーと一緒に日本の投資プロフェッショナル育成のための活動を進めていきたいと考えております。

1. 岡本和久 (おかもとかずひさ)、CFA 日本CFA協会 名誉会長



【専門分野】 証券分析、資産運用、投資家教育

【略歴】

1971年、慶應義塾大学経済学部卒。日興証券株式会社入社、ニューヨーク現地法人、情報部などで証券アナリスト・ストラテジスト業務に従事後、1992年、現パークレイズ・グローバル・インベスターズの日本法人を設立、2005年まで13年間代表取締役社長として年金運用業務に携わる。2005年5月、個人投資家向け投資セミナーを行うI-Oウェルス・アドバイザーズ株式会社を設立、代表取締役社長に就任。現在、同社でマンスリー・セミナー、DIY資産

運用教室などを開催する傍ら、全国800名の長期投資家仲間によるクラブ・インベストラيفを主宰。

日本証券投資顧問業協会理事、同協会副会長兼自主規制委員会委員長、投資信託協会理事などを歴任。米国カリフォルニア大学バークレー校、ハース・ビジネス・スクール、アジアビジネスセンター・アドバイザー。経済同友会会員。

BLOG「岡本和久のI-OWA日記」：<http://www.i-owa.com/blog/>

CFA資格を取得した理由

CFAは1983年に取得しました。アメリカですばらしいポートフォリオ・マネジャーやアナリストと仕事をして、自分も「あのようにになりたい!」と憧れたのが動機です。

現在の業務上でのトピック

これからは個人投資家の時代です。日本CFA協会においても、昨年、ウェルス・マネジメント・フォーラムを立ち上げました。約30名のメンバーが、隔月で活発な議論を続けています。

オフタイムの過ごし方

東京ギター・アンサンブルの代表です。コンクール、フェスティバルに参加するほか、目黒区を中心にボランティア演奏などを行なっています。

最近印象に残った書物

生涯を通じての愛読書は「老子」と「荘子」です。

好きな都市・街は

年金運用時代に年の4分の1ほど過ごしたサンフランシスコは、いまでも頻りに訪れます。11年住んだニューヨーク、それから2年間住んだブラジルのサンパウロも懐かしいです。

座右の名は

中学時代、英語の先生がいつも言っていた「人生で大切なのは、愛と誠実と努力」という言葉。目の前に現れてくる問題に一生懸命取り組みれば、必ずベストの結果を得られます。

2. 瀬尾周一 (せおしゅういち) CFA

日本 CFA 協会理事 財務担当



【専門分野】 M & A アドバイザリー

【略歴】

1984 年、東京大学法学部卒業。ニューヨーク大学 (MBA) 修了。野村総合研究所等を経て、現在 I B S 証券投資銀行第一本部部長。M & A アドバイザリー業務に従事。日本 CFA 協会理事・財務担当。CFA 協会認定証券アナリスト。

C F A 資格を取得した理由、

野村総研に勤務時代、先輩が取得していたため。

現在の業務上でのトピック

M & A アドバイザリー業務は、世話好きのおじさんがお見合いをセットするようなもので、日本企業に外人のお嫁さん (お嬢さん) を紹介しています。

オフタイムの過ごし方

テニス (壁打ちのみ)

最近印象に残った書物

「夏の光」田村優之著、ポプラ社刊。日経新聞の日曜マネー欄のデスクをしている田村正之氏の小説第 2 作。マネー欄とは異なる繊細な筆致で、青春時代の後悔を描いています。

好きな都市・街は

ロンドン。落ち着きます

好きな言葉は

いつも明るく

3 .CFA J 主なイベント

4 月以降のイベントの詳細・お申し込みは協会ホームページをご参照ください

<http://www.cfaj.org/Lists/Events/calendar.aspx>

セミナー 「拡大が期待される排出権取引への取り組み」

日時： 4 月 7 日 (火) 19 時より

会場：鉄鋼会館 811 号室 (中央区日本橋茅場町 3-2-10)

料金：CFA 会員無料、非会員 2000 円

スピーカー：渡邊 肇 (三菱 UFJ 証券クリーン・エネルギー・ファイナンス委員会委員長)

セミナー 「金融不正行為を見抜くには」

日時： 4 月 21 日 (火) 18 時 30 分より

会場：東京商工会議所 502 号会議室 (千代田区丸の内 3-2-2)

料金：CFA 会員無料、非会員 2000 円

スピーカー：ハワード M. シリット博士 (「会計トリックはこう見抜け」(日経 B P 社刊) 著者)

CFA 協会 概要

CFA Institute は、CFA[®] (Chartered Financial Analyst[®]) および CIPM (Certificate in Investment Performance Measurement) のカリキュラムと試験を世界的に運営しているほか、研究発表、職業能力開発プログラムの実施、投資業界のための倫理に基づく職業規範と業績報告基準の自主的策定を行っている世界的な非営利団体です。133 の国と地域で約 99,000 名のメンバー (約 86,500 名の CFA 資格者を含む) が所属し、また 57 の国と地域に 136 の拠点があります。

<本部>

アジア太平洋地域 香港

米国・カナダ 南米地域 シャーロットビル (米・ヴァージニア州)、ニューヨーク (米・ニューヨーク州)

ヨーロッパ・中近東 ロンドン

<ホームページ・アドレス>

www.cfainstitute.org

CFA[®] (Chartered Financial Analyst)[®] 概要

CFA[®] は、証券分析及び運用アドバイスにおいて世界的に認められている専門資格で、現在、133 の国と地域に約 85,000 名の資格者がいます。CFA の試験は、複雑化とグローバル化の進む投資運用実務を反映し、極めて高度な水準に照らして受験者を評価するため、この資格を認定されることは、雇用者からも顧客からも大きな敬意を持って受けとめられています。

日本 CFA 協会 (CFA Society of Japan) 概要

日本における CFA 資格者や受験者に対して、専門知識の向上と相互交流の場を提供する非営利組織。倫理規範や職業行為基準、資産運用や調査に関する専門能力の向上と普及をめざし、会員向けに金融市場、財務会計、経済動向などをテーマとした講演会、セミナー、勉強会などを開催しています。また会員相互間の交流会なども行なっています。

所在地 : 東京都中央区日本橋本町 1-3-8 共同ビル(昭和)6 階

Tel: 03-3517-5471 Fax :03-3517-5472

設立 : 1999 年

代表者 : チャールズ J. ヤン, CFA

ホームページ・アドレス <http://www.cfaj.org>